

令和4年1月28日

横浜市長 山中 竹春 様

横浜市民間資金等活用事業審査委員会

委員長 齋藤 真哉

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」
に基づく特定事業に関する調査審議について（答申）

令和2年9月28日道建第2250号で諮問のありました「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づく特定事業に関する調査審議について、下記のとおり答申いたします。

記

環状3号線（杉田港南台地区）電線共同溝PFI事業に関する民間事業者による提案書の審査及び優秀提案者の選定については、次のとおりとします。

なお、本PFI事業の推進にあたり、次のとおり意見を付します。

1 民間事業者による提案書の審査

別添「環状3号線（杉田港南台地区）電線共同溝PFI事業 審査結果報告書」のとおり。

2 最優秀提案者の選定

赤グループ【提案者記号 赤】を最優秀提案者とする。

3 付帯意見

市と落札者グループは、本事業の目的実現に向けて、相互理解と対等なパートナーシップの下に協力し合い、入札条件に即して、以下の項目に関して努力すること。

- 本事業の効率的な実施に加え、今後の類似事業の実施に資するよう、市と落札者グループは事業期間を通じて、適切に情報共有を行い、ノウハウ蓄積を図ること。
- 施工段階での安全性の確保、生活環境への配慮、周辺交通の影響抑制を徹底し、地域の理解を得ながら事業を推進すること。

- デジタル技術を積極的に活用し、効率的な事業推進を図るとともに、インフラ分野での DX 推進に貢献すること。
- 本事業は長期の事業となるため、維持管理業務も含めた各業務が確実に実施され、その履行を確認できる体制を、市と落札者グループが協力して構築すること。
- 先進的な事例として、他の地方自治体への情報提供等にも期待する。

以上

環状3号線（杉田港南台地区）電線共同溝PFI事業

審査結果報告書

令和4年1月28日

横浜市民間資金等活用事業審査委員会

令和2年9月28日道建第2250号により、横浜市（以下「市」という。）から諮問のありました「環状3号線（杉田港南台地区）電線共同溝PFI事業」に関する民間事業者による提案書の審査及び優秀提案者の選定について調査審議いたしましたので、審査経緯及び審査結果をここに御報告いたします。

令和4年1月28日

横浜市民間資金等活用事業審査委員会

委員長	齋藤 真哉	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授
委員	原 悦子	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士
委員	山口 直也	青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 教授
委員	秋葉 正一	日本大学大学院 生産工学研究科 教授
委員	勝地 弘	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授

目 次

1	審查経緯	1
2	審查結果	5

1 審査経緯

(1) 審査委員

役職	氏名	所属・役職
委員長	齋藤 真哉	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 教授
委員	原 悦子	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士
委員	山口 直也	青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科 教授
委員	秋葉 正一	日本大学大学院生産工学研究科 教授
委員	勝地 弘	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授

(2) 審査委員会の開催

開催日	審議内容
令和2年 10月23日(金)	1 実施方針について
令和3年 4月9日(金)	1 特定事業の選定について
令和3年 7月5日(月)	1 入札説明書等について
令和4年 1月7日(金)	1 経過報告 2 応募グループプレゼンテーション及びヒアリング
令和4年 1月7日(金)	1 提案審査に関する審議の進め方について 2 提案審査について 3 総合評価点の算出及び最優秀提案者の選定について

(3) 審査対象

市が実施した基礎審査において、要件を満たしていると認められた応募グループの提案（2件）について、評価を行いました。

なお、審査対象となった応募グループは、それぞれ以下のとおり称しました。

<応募グループの呼称>

- ・赤グループ【提案者記号 赤】
- ・青グループ【提案者記号 青】

(4) 審査方法

提案書等を審査するに当たり、令和4年1月7日に、応募グループから、提案書の内容に関するプレゼンテーションを聴いた上で、ヒアリングを行いました。

ヒアリングを踏まえて、「落札者決定基準」（令和3年7月27日公表）に基づき評価を行い、内容点を算出しました。

内容点と入札価格に基づき算出された価格点とを合計して、総合評価点を算出しました。

総合評価点が最も高い提案を行った者を最優秀提案者として選定しました。

第3 落札者の決定の手順

～（略）～

2. 審査の手順

～（略）～

（4）内容点の算出

基礎審査において、要件を満たしていると認められた入札参加者の提案のうち内容について、審査委員会において評価を行う。

この性能の評価においては、入札参加者から提出された提案書類の各様式に記載された内容を、別紙1に示す審査項目ごとの視点から審査を行い、審査項目ごとに得点を「内容点」として付与する。

（5）入札価格の確認

市は、入札参加者が提出する入札書に記載された入札価格が、予定価格の範囲内であることを確認する。

予定価格を超える場合は失格とする。

（6）価格点の算出

審査委員会は、入札価格に基づき算出される得点を「価格点」として付与する。

（7）総合評価点の算出

審査委員会は、各入札参加者の内容点及び価格点の合計点数を「総合評価点」として算出する。

（8）最優秀提案者の選定

審査委員会は、各入札参加者の総合評価点が最も高い提案を最優秀提案とし、最優秀提案者を選定する。

なお、総合評価点の最も高い提案を提出した者が2者以上ある場合、総合評価点の内訳において内容点が最も高い者を最優秀提案者として選定する。内容点と同点の場合は、当該者にくじを引かせて決定する。当該者のうちくじを引かない者がいるときは、当該入札事務に関係のない市の職員が代わりにくじを引き、落札者を決定する。

第4 総合評価点の内容

1. 総合評価点の得点化方式

以下の算定式により得点を付与する。なお、各配点は市が本事業において期待する事項の必要性及び重要性を勘案して設定している。

$$\text{総合評価点} = \text{内容点 (700 点満点)} + \text{価格点 (300 点満点)}$$

2. 審査項目及び配点

内容点及び価格点の配点は、次のとおりである。

審査項目	配点
内容点	700
実施方針及び実施体制 (110)	
事業実施方針・体制 (90)	
事業実施方針及び実施体制の確実性	20
地域経済への波及効果	70
リスク管理・対応 (20)	
各企業の専門性や実績等に応じたリスク分担	20
資金調達及び収支計画 (60)	
資金調達計画 (40)	
資金調達・償還計画・収支計画	20
事業を安定的に継続するための資金の確保、資金不足時の対応	20
財務・資金管理 (20)	
事業安定性確保のための財務上のモニタリング方策	20
施設整備計画 (450)	
調査・設計及び施工計画 (230)	
施工段階の手戻りを最小化する調査・設計	80
各種工事等の工程を最適化	80
工事における品質確保	35
工事における安全性確保及び周辺交通への影響抑制	35
調整マネジメント (80)	
関係者との早期の合意形成を行う円滑な事業推進	80
地域や環境への配慮 (70)	
施工にあたっての生活環境への配慮	70
周辺地域との調和 (70)	
良好な道路空間の形成	35
占用業者への配慮	35
維持管理計画 (80)	
点検業務・補修業務 (40)	
維持管理対象施設の経年劣化の最小化、施設性能の維持を目的とした点検及び補修についての方策	40
調整マネジメント (40)	
関係者との早期の合意形成を行う円滑な事業推進	40
価格点	300
総合評価点	1,000

3. 内容点の得点化方法

内容点は、入札参加者からの提案事項に関して、別紙に示す評価項目ごとに評価を行って算出した評価点の合計とする。

評価は、A～Eの5段階による絶対評価とする。各評価ランクの判断基準及び得点化方法は、次表のとおりとする。

評価ランク	判断基準	評価点の算出方法
A	提案内容が特に優れている	配点×1.00
B	AとCの間	配点×0.75
C	提案内容が優れている	配点×0.50
D	CとEの間	配点×0.25
E	要求水準の規定どおり	配点×0.00

4. 価格点の得点化方法

以下の算定式により得点を付与する。なお、得点は、小数点第三位を四捨五入し、小数点第二位まで算出する。

$$\text{価格点} = (\text{最も低い評価価格} \div \text{各入札参加者の評価価格}) \times \text{価格点の配点 (300点)}$$

2 審査結果

(1) 最優秀提案者の選定

赤グループ【提案者記号 赤】

(2) 総合評価点

【赤グループ】

713.75点（内容点 413.75点 + 価格点 300.00点）

【青グループ】

611.91点（内容点 375.00点 + 価格点 236.91点）

(3) 各提案に対する講評

【赤グループ】

効果的かつ具体的な方策による大幅な工期短縮や施工時の安全対策、豊富な実績に基づいた実施体制の構築や的確な調整マネジメント、市内経済活性化に向けた市内事業者の積極的な活用など、効果的な提案がなされており、全体的に具体性があり説得力のある提案であったと評価します。

【青グループ】

これまでの事業経験とノウハウに基づいた実施体制や調整マネジメントの方策に加え、シルバー人材や障がい者雇用も含め、市内事業者や人材の活用の計画などの市内経済に十分に配慮した提案がなされており、現状認識、課題・着眼点といった分析に基づき、様々な方策が提案されていたと評価します。

各提案の項目評価点及び評価理由は別紙のとおり

(4) 総評

本事業の提案公募において、2件の提案があり、一定の競争の下での審査となったことについては、好ましいことであると考えます。本事業は地方自治体初となる電線共同溝PFI事業となりますが、様々な試みを積極的に取り入れ、それぞれのノウハウや技術を活かした優れた提案がなされました。応募していただいた両グループの皆様には、心より感謝を申し上げます。

選定された赤グループの提案は、全体的に具体性が高く、独自のノウハウを導入して確実に工期短縮・コスト削減が図られる優れた提案であったと考えます。

なお、本事業が地方自治体初の電線共同溝PFI事業として優れたモデルとなるよう、今後、市が落札者グループと共に事業を実施していくにあたり、本委員会からは、次の意見を付すこととします。

<意見>

市と落札者グループは、本事業の目的実現に向けて、相互理解と対等なパートナーシップの下に協力し合い、入札条件に即して、以下の項目に関して努力すること。

- 本事業の効率的な実施に加え、今後の類似事業の実施に資するよう、市と落札者グループは事

業期間を通じて、適切に情報共有を行い、ノウハウ蓄積を図ること。

- 施工段階での安全性の確保、生活環境への配慮、周辺交通の影響抑制を徹底し、地域の理解を得ながら事業を推進すること。
- デジタル技術を積極的に活用し、効率的な事業推進を図るとともに、インフラ分野での DX 推進に貢献すること。
- 本事業は長期の事業となるため、維持管理業務も含めた各業務が確実に実施され、その履行を確認できる体制を、市と落札者グループが協力して構築すること。
- 先進的な事例として、他の地方公共団体への情報提供等にも期待する。

赤グループ【提案者記号 赤】

審査項目	配点	5段階評価	評価点	評価理由
内容点	700		413.75	
実施方針及び実施体制 (110)			90.00	
事業実施方針・体制 (90)			80.00	
事業実施方針及び実施体制の確実性	20	C	10.00	本事業を取り巻く社会的要請への対応及び事業履行の確実性、多様な事態を想定した体制、横浜市との円滑での確かな意思疎通を図る体制の提案が優れていた。
地域経済への波及効果	70	A	70.00	市内の事業者や人材等の積極的な活用計画及びその実現方策の提案が特に優れていた。また、その他提案が優れていた。
リスク管理・対応 (20)			10.00	
各企業の専門性や実績等に応じたリスク分担	20	C	10.00	事業者及び各構成員・協力企業間のリスク分担内容及びその他の提案が優れていた。
資金調達及び収支計画 (60)			30.00	
資金調達計画 (40)			20.00	
資金調達・償還計画・収支計画	20	C	10.00	本事業の内容を十分に考慮した資金額及び資金調達計画の提案が優れていた。
事業を安定的に継続するための資金の確保、資金不足時の対応	20	C	10.00	施設整備期間中の金利支払い及び金利変動リスク対策、不測の事態に対応するための資金手当ての提案が優れていた。
財務・資金管理 (20)			10.00	
事業安定性確保のための財務上のモニタリング方策	20	C	10.00	財務面での自己監視を徹底する体制・手法と事業の継続に向けた適切かつ効果的なモニタリング手法の提案が特に優れ、市の財務モニタリングの協力方法の提案が優れていた。
施設整備計画 (450)			253.75	
調査・設計及び施工計画 (230)			143.75	
施工段階の手戻りを最小化する調査・設計	80	C	40.00	現況埋設物の把握方法や効率的な支障物移設設計等の調査方法及び新技術を導入して施工段階の施工の手戻りを最小化する設計の提案が優れていた。
各種工事等の工程を最適化	80	B	60.00	施工の全体工程における工事遅れ対策と効率化方策や各種工事における工期短縮の提案が特に優れ、設計変更に伴う増加費用の抑制方策及び支障物件移転協議、入線業者との協議の提案が優れていた。
工事における品質確保	35	C	17.50	品質確保と施工体制の提案が優れていた。
工事における安全性確保及び周辺交通への影響抑制	35	B	26.25	施工時と非常時・災害時の安全対策の提案が特に優れ、交通規制の安全配慮及びその他の提案が優れていた。
調整マネジメント (80)			40.00	
関係者との早期の合意形成を行う円滑な事業推進	80	C	40.00	調査設計段階から施工段階・維持管理段階までの関係機関協議や地元調整等のワンストップ体制方策及び継続的な情報共有と監視体制による円滑な事業推進方策、各種関係機関への効果的な周知方法、道路管理者及び所轄警察署等との効率的な調整方策、隣接家屋・店舗等の出入口調整方策の提案が優れていた。
地域や環境への配慮 (70)			35.00	
施工にあたっての生活環境への配慮	70	C	35.00	周辺環境への計画及び計画上の配慮、支障物件等移設の周辺居住者の生活環境への配慮、建設副産物の発生抑制や再資源化への配慮、エコマテリアルの採用の提案が優れていた。
周辺地域との調和 (70)			35.00	
良好な道路空間の形成	35	C	17.50	道路利用者の利便性や快適性に配慮した提案が優れていた。
占用業者への配慮	35	C	17.50	入線業者のメンテナンス作業等に配慮した提案が優れていた。
維持管理計画 (80)			40.00	
点検業務・補修業務 (40)			20.00	
維持管理対象施設の経年劣化の最小化、施設性能の維持を目的とした点検及び補修についての方策	40	C	20.00	電線共同溝本体の経年劣化の最小化・施設性能を維持する効果的な点検実施方法及び非常時・災害時の配慮、事業期間終了後以降の効率的な維持管理計画への配慮、その他の提案が優れていた。
調整マネジメント (40)			20.00	
関係者との早期の合意形成を行う円滑な事業推進	40	C	20.00	入線業者との抜柱・入線を早期に完了する提案及びその他の提案が優れていた。
価格点	300		300.00	
総合評価点 (内容点+価格点)	1,000		713.75	

青グループ【提案者記号 青】

審査項目	配点	5段階評価	評価点	評価理由
内容点	700		375.00	
実施方針及び実施体制 (110)			90.00	
事業実施方針・体制 (90)			80.00	
事業実施方針及び実施体制の確実性	20	C	10.00	本事業を取り巻く社会的要請への対応及び事業履行の確実性、多様な事態を想定した体制、横浜市との円滑での確かな意思疎通を図る体制の提案が優れていた。
地域経済への波及効果	70	A	70.00	市内の事業者や人材等の積極的な活用計画及びその実現方策の提案が特に優れていた。また、その他提案が優れていた。
リスク管理・対応 (20)			10.00	
各企業の専門性や実績等に応じたリスク分担	20	C	10.00	事業者及び各構成員・協力企業間のリスク分担内容及び「事業者が付す保険」のリスク対応、その他の提案が優れていた。
資金調達及び収支計画 (60)			20.00	
資金調達計画 (40)			15.00	
資金調達・償還計画・収支計画	20	D	5.00	本事業の内容を十分に考慮した資金額及び資金調達計画の提案が優れていた。
事業を安定的に継続するための資金の確保、資金不足時の対応	20	C	10.00	施設整備期間中の金利支払い及び金利変動リスク対策、不測の事態に対応するための資金手当ての提案が優れていた。
財務・資金管理 (20)			5.00	
事業安定性確保のための財務上のモニタリング方策	20	D	5.00	財務面での自己監視を徹底する体制・手法と事業の継続に向けた適切かつ効果的なモニタリング手法及び市の財務モニタリングの協力方法の提案が優れていた。
施設整備計画 (450)			225.00	
調査・設計及び施工計画 (230)			115.00	
施工段階の手戻りを最小化する調査・設計	80	C	40.00	現況埋設物の把握方法や効率的な支障物移設設計等の調査方法及び新技術を導入して施工段階の施工の手戻りを最小化する設計の提案が優れていた。
各種工事等の工程を最適化	80	C	40.00	施工の全体工程における工事遅れ対策と効率化方策や各種工事における工期短縮の提案が優れていた。
工事における品質確保	35	C	17.50	品質確保と施工体制の提案が優れていた。
工事における安全性確保及び周辺交通への影響抑制	35	C	17.50	施工時と非常時・災害時の安全対策及び交通規制の安全配慮、その他の提案が優れていた。
調整マネジメント (80)			40.00	
関係者との早期の合意形成を行う円滑な事業推進	80	C	40.00	調査設計段階から施工段階・維持管理段階までの関係機関協議や地元調整等のワンストップ体制方策及び各種関係機関への効果的な周知方法、道路管理者及び所轄警察署等との効率的な調整方策、隣接家屋・店舗等の出入口調整方策、その他の提案が優れていた。
地域や環境への配慮 (70)			35.00	
施工にあたっての生活環境への配慮	70	C	35.00	周辺環境への計画及び計画上の配慮、支障物件等移設の周辺居住者の生活環境への配慮、建設副産物の発生抑制や再資源化への配慮、エコマテリアルの採用の提案が優れていた。
周辺地域との調和 (70)			35.00	
良好な道路空間の形成	35	C	17.50	道路利用者の利便性や快適性に配慮した提案が優れていた。
占用業者への配慮	35	C	17.50	入線業者のメンテナンス作業等に配慮した提案が優れていた。
維持管理計画 (80)			40.00	
点検業務・補修業務 (40)			20.00	
維持管理対象施設の経年劣化の最小化、施設性能の維持を目的とした点検及び補修についての方策	40	C	20.00	電線共同溝本体の経年劣化の最小化・施設性能を維持する効果的な点検実施方法及び非常時・災害時の配慮、事業期間終了後以降の効率的な維持管理計画への配慮の提案が優れていた。
調整マネジメント (40)			20.00	
関係者との早期の合意形成を行う円滑な事業推進	40	C	20.00	入線業者との抜柱・入線を早期に完了する提案及びその他の提案が優れていた。
価格点	300		236.91	
総合評価点 (内容点+価格点)	1,000		611.91	